

科目名	中国研究 II		担当教員	横久保 義洋	
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	FL2WOR205
期待される学修成果	異文化・国際理解				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験	高等学校国語科教員				
実務経験を生かした授業内容	学校現場の経験を生かし、漢詩の鑑賞法や文法事項、国文学との関わりについて講義する。				
到達目標及びテーマ	東アジア地域の多様な風土と民族とに着目しつつ、その暮らしの中ではぐくまれてきた文学作品、特に漢詩を味読し、その世界と生活文化に対して関心を抱くとともに初歩的な理解をする。また、濃尾地方を中心とした日本漢詩人の作品および人生を取り上げて読むことにより、郷土意識を養うとともに日本文明の独自性と異文化との関わり方についても考察する。				
授業の概要	東亜詩文学				

授業計画	
第1回	はじめに 東アジアの風土・文化①風土
第2回	東アジアの風土と文化②文化
第3回	詩の起こりと発達 歴史・神話の詩①王朝のはじまり
第4回	歴史・神話の詩②歴史と戦争と
第5回	四季の詩①南方の秋
第6回	四季の詩②北方の秋
第7回	四季の詩③南方の春
第8回	四季の詩④北方の春
第9回	四季の詩⑤冬
第10回	四季の詩⑥夏
第11回	友情の詩①旅
第12回	友情の詩②都
第13回	家族の詩
第14回	恋の詩① 竹枝から閨怨へ
第15回	恋の詩② 時調 琉歌 おわりに

事前学修	2時間	授業はじめに 東アジアの風土・文化で取り扱う詩詞・詩人について調べておく。また、インターネット等で東アジアの文化に関する情報に普段より接するようにする。
事後学修	2時間	復習をし、指定された参考文献を読む。
フィードバックの方法	まとめ時に毎回の課題小レポートの模範解答を配布することでフィードバックする。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80%	定期試験
上記以外の試験・平常点評価	20%	毎回の授業時にレポートを課す。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	プリントを配布する。
参考資料	適宜指示する。			